

平成22年1月吉日

甲府中学・甲府一高
東京同窓会会員各位

一紅会会長 飯田富美子

一紅会主催

第13回『春の講演会』開催のご案内

新しい年を迎え、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
いつも一紅会活動に深いご理解と温かいお力添えを賜り誠にありがとうございます。
でございます。

今年も第13回「春の講演会」を別紙ちらしのとおり3月6日（土）に開催
いたします。今回は、久々に女性の講師をお迎えし、『**言葉の魔力**』について
ご講演いただきます。

聖句に「はじめにことばありき」とありますように、私たちは言葉の恩恵
を無窮に受けていますが、必ずしも良いコミュニケーションを得ていません。
人間関係を危うくし、短縮語や若者言葉の横行に戸惑います。

昨秋NHKで放映された『日本G0』は、日本語再考という意味でレギュラー
番組として放映されるやに聞いています。

ことばのスペシャリスト浅川初美氏（47年卒）が、ライフワークとして
ご研究の方言、とりわけ甲州弁の効用を駆使して、報道最前線の現場での
ご苦労や裏話などを交えながらのお話は、時宜を得たアトラクティブなコミュ
ニケーション論として大変楽しみにしています。

引き続き行なわれますロリポップパーティーでは、思いっきり甲州弁で
旧交を深めていただけましたら幸甚に存じます。

私どもの講演会が魅力ある企画を以って、皆様のご期待に添うべく努力い
たす所存でございますので、この上ともご指導ご支援のほど衷心よりお願い
申し上げます。

3月6日（土）アルカディア市ヶ谷にて皆様のご来場をお待ち申し上げます。

【第13回 講演会プロジェクトメンバー】

竹中みゆき（43 副会長） 三田富貴子（44 会計） 渡辺圭子（28）

井上若子（30） 川島民子（37） 水谷園江（40）

小川早苗（47） 河野美沙子（47） 佐藤みどり（47）

山田陽子（47） 林野妙子（48） 辻 恵美子（48）

篠原妙子（48） （ ）内数字は卒業年次

言葉の魔力に魅せられて

～伝える楽しみ・伝わる喜び

豊かなコミュニケーションのために～

人と人とのつながりに、言葉は大きな力をもっています。

「どうしたらより深く伝えることができるか？」を自分に問いながら、インタビュアーとして、人と関わり続ける浅川初美氏に、言葉の魅力についてお話していただきます。方言もまた、身近で味わいのあるコミュニケーションの道具です。標準語では言い表せない言葉の機微を伝えることができます。甲州弁の思いがけない効用も交えながらのお話は、きっと皆様を豊かな言葉の世界へいざなってくれるでしょう。

山梨放送アナウンス部長
講師 **浅川 初美氏**



プロフィール

昭和29年 山梨県に生まれる

昭和47年 甲府一高卒業、日本女子大学文学部入学

昭和51年 山梨放送入社、アナウンサー歴33年

現在

山梨放送本部報道制作担当補佐兼アナウンス部長

山梨英和大学非常勤講師

講座名「コミュニケーションの技法」

現在の担当番組

「YBSワイドニュース」 月～金 18:16～18:55

「映像の扉」 毎月最終金曜日 10:25～11:20

日時：平成22年3月6日(土)
13:00～16:30(12:30 開場)
講演会(13:00～14:30)終了後懇親会
会費：4,000円
懇親会(ロリポップパーティ)費を含む
*飲み物、軽食を用意しております。
会場：アルカディア市ヶ谷(私学会館)
3F 富士の間
千代田区九段北 4-2-25(下記地図参照)
TEL 03-3261-9921(代)



東京メトロ 有楽町線・南北線 市ヶ谷駅 A1-1出口 徒歩2分
都営地下鉄 新宿線 市ヶ谷駅 A1-1、A4出口 徒歩2分
JR 中央・総武線 市ヶ谷駅 徒歩2分

出席・欠席のお返事は **2月6日(土)**までに同封はがきにてお願いいたします。
東京同窓会 HP でも受け付けます。 <http://www.5f.biglobe.ne.jp/~kf1-tokyo/index1.htm>

第13回「一紅会」主催 春の講演会

言葉の魔力に魅せられて

～伝える楽しみ・伝わる喜び

豊かなコミュニケーションのために～

日 時：平成22年3月6日(土) 13:00～

場 所：アルカディア市ヶ谷

株式会社山梨放送
アナウンス部長

浅川 初美

1. 声は変わる

《 女性アナウンサーの声がテノールに 》

女性の社会進出とともに、女性アナウンサーの仕事の幅も広がってきました。

たとえば、ニュース番組では、高い明るい声よりも、落ち着いた低い声もとめられます。女性アナウンサーの声が低くなってきました。

《 自分の声は好きですか？ 》

「声は人なり」とか。自分の声に自信をもちたいものです。

声はとても正直なもの。残念ながら、ごまかしは利きません。

《 発音の要は母音 》

聞き取りやすい日本語を発音するのは、そう難しいことではありません。大切なのは「母音」です。日本語は必ず「母音」で終わります。その「母音」の発音が正確かどうかポイントです。私たちは、外国語の発音は勉強しますが、日本語の発音を勉強する機会はほとんどありません。そのため、日本語の発音特に「母音」の発音は、とても曖昧なものとなっています。

☆練習してみましょう！

ア → エ → イ → ウ → オ

この順番で声を出すと、口の動きが自然で無理のないものになります。

ア：口を縦に大きく開ける

エ：口の開きを小さく

イ：口の開きはさらに小さく、唇の形を左右に平たく

ウ：口の開き(アゴの位置)は「イ」と同じ、唇の形はやや丸く

オ：口の開きは「エ」と同じ、唇の形はさらに丸く

2. 言葉は変わる

《 何と読みますか？ 》

- ・ 早急 (さっきゅう・そうきゅう)

* 音声(長音・促音)の語感を大切にしたいものです。

- ・ 他人事 (ひとごと・たにんごと)

* 「ひとごと」と読んでほしい時には、『人事』と書くとか

- ・ 国内外（くにないがい・こくないがい）
 - * 折衷案（?）で「くにのないがい」と読んでいます。

《 どこにアクセント? 》

- ・ パンツ
- ・ 彼氏
 - * 日本語のアクセントが平板になってきました。

番外 初美（私の名前です）

- * 名前にも決められたアクセントがあります。

（例） 3拍の名前

①名前の最後が ミ・エ・ヨ・オ・「吉」・「作」・「七」



平板型

②名前の最後が コ・キ・ト・ゴ・ジ・タ・イチ・ヘー・ロー



頭高型

《 濁音と鼻濁音 》

ことばの最初（語頭）のガギグゲゴは濁音で発音します。これに対して、助詞の「が」や、語中・語尾のガギグゲゴは鼻濁音で発音します。

鼻濁音は、伝統的な日本語の発音ですが、九州・中国・中京・上越などではもともと鼻濁音は使っていませんし、東京でも数十年前から鼻濁音がほとんど聞かれなくなってきています。特に、若いひとたちの間で鼻濁音は減ってきました。しかし、鼻濁音の持っているまろやかな響きは日本語の美しさのひとつでもあります。大切にしたいものです。

3. アナウンサーの仕事は「聞く」こと

《 言葉のキャッチ・ボール 》

言葉という「ボール」を投げ（話す）、受ける（聞く）ことがコミュニケーションの基本です。投げては受け、受けては投げる。話したら聞く、聞いたら話す。このくりかえしです。一方的に話す人は「おしゃべり」で、「話し上手」とはいえません。

《 態度は目に入る言葉である 》

「態度」は声にならない言葉です。

アメリカの社会心理学者 アルバート・メラビアンによると、

コミュニケーションを成り立たせているのは … 表情・態度 55%

言葉・音声 45%

どんな態度・表情で話しているのか、聞いているのか、話し手も聞き手もそこをキャッチしたいものです。

《 「って！」を使って聞き上手に 》

聞き手は、積極的、能動的に聞きましょう。心を動かしながら、相手の話に興味をもって聞きましょう。感じたことを態度に表す事も大切です。話し手が話しやすくなります。相づちをうつのも効果的。

相づちは9種類（確認・同意・同情・感心・喜び・驚き・催促・疑問・反対）もあります。甲州弁の「って」はすばらしい！ 相づちの万能選手です。

4. 言葉の変化には、少しのブレーキを

以前は辞書にもものっていなかった言葉の意味や用法も、多くの人々が使うようになると、やがて辞書にも採用され、許容されることとなります。誤用→慣用→容認という変化です。今、この変化がとても早くなっていると感じます。変化のスピードに対し、意識的に少しブレーキをかけてもいいのかも知れません。

以上

発音練習

ア行

青い家 相生 葵瓜 野葵 家葵 青嵐 老鶯 絵扇
絵団扇 威勢のいい医者 上野から魚河岸まで 絵姿になる江差追分
蝦夷で暮らすも一生江戸で暮らすも一生 縁は異なるもの 恩愛の縁
老いては負うた子に教えられ 鶇が鮎を追いあう

カ行

貨客船の旅客 中小商工業振興会議 乗客の訓練 栗の木の切り口
規格価格か駆引価格か 危険区域 区画計画 第五交響曲に観客驚愕

ガ行

山羊 兎 葱 雅楽「青海波」 義歯 義眼 義手 義足
生米生麦生卵 赤巻紙黄巻紙長巻紙 呉越同舟とは言語道断 家具
夜具 身ぐるみ 荷車

サ行

新設診察室視察 佐賀の佐々木三郎 最新式写真撮影法 佐山の佐々佐吉
生産者の申請書審査 行政監察査察使 親切な先生 背の低い生徒
粗品粗酒粗食 瀕死の使者 消息筋の推察 必死の疾走 左社総評
右社の主義思想

ザ行

肘 匙 地面 座頭のざんげ 座右の銘 前述の事情 漸次増税
前夜の風 自費自弁 自業自得 頭脳明晰 絶体絶命

タ行

竹垣に竹立てかける 暖かくなる高曇りの天気 地質学的知識の塵
狐 鶴 燕 国鉄 鉄橋 転撒手 不特定投資匿名組合取り締まり

ダ行

道路 道具 大学代表者 第一回議題 電報打電 電話連絡
鼓と小鼓を一包みにして小包で出した

ナ行

親に似ぬ子は鬼子 練絹に平絹 西隣の庭 殿様の長袴若殿様の小長袴

ハ行

是々非々主義 候補者放送 東北地方の特派員 広島の新で火鉢を縛る
羊皮紙の表紙の批評集 不幸な夫婦は古い服

バ行

豆ブギ歌手 赤かび病 病気伝染病予防

マ行

右の耳から耳輪を三つ 赤巻紙長巻紙 無理に結んだ結び目六つ
目医者 名刺屋 名士に面識

ヤ行

闇の山 夜半の宿 湯屋の中 ゆず湯の夢 八日の夜の夜回り
夜通しよろよろ

ラ行

ラクダのシャツ 暖房 ラジオの団欒 利口 理非理不尽無理
アンリ・ルネ・ルノルマンの流浪者の群 五郎が五両十郎が十両
治療中の旅客 最良の料理

ワ行

我が国の俵 私の瓦 私は畏にかかった鱈

第13回「一紅会」主催 春の講演会

<タイトル>

言葉の魔力に魅せられて ～伝える楽しみ・伝わる喜び 豊かなコミュニケーションのために～

<講師>

山梨放送アナウンス部長 浅川初美氏

<日時・会場>

日時:平成22年3月6日(土) 13:00~16:30

会場:アルカディア市ヶ谷(私学会館)3F 富士の間
千代田区九段北4-2-25 Tel 03-3261-9921(代)

最終参加者リスト

お申込み者 総数:302名

卒業の年	人	出席者(学年別 50音順)					
昭和20・A年	1	青柳利雄					
昭和28年	4	尾辻紀子	津金宏子	望月沙世子	渡辺圭子		
昭和29年	3	小泉敦夫	斉藤好司	佐々木正			
昭和30年	19	浅川八重子	鮎川ますみ	井上若子	遠藤政子	神田四郎	木谷滋子
		呉藤勢津子	塩瀬昭子	神宮司房義	高橋ふく子	巽一恒	轟佐智子
		土橋都代	長島歌子	森澤正好	八木原順子	矢崎仁一	山本恂子
		相沢功					
昭和31年	8	青柳守彦	芦澤修二	石井澄夫	井上幸彦	岩本福喜	河崎正
		小池松寿	名取正				
昭和32年	10	雨宮武	石原二三枝	稲葉文昭	小澤綾子	佐野まさる	外川靖人
		樋口信	牟田智子	山下悦子	若尾和子		
昭和33年	19	有泉演美	飯田富美子	倉持房枝	河内一郎	小林章子	五味一彦
		斎藤由美子	斎藤芳樹	桜井実	竹口哲	内藤厚子	中込勝子
		早川圭蔵	林睦生	堀口孝雄	三澤千鶴子	三井純一	師岡庄子
		渡辺元成					
昭和34年	9	伊東昭	斉藤峰子	土屋初海	内藤勲	中村礼子	南真紀子
		村野久子	森田茂	米山てるみ			
昭和35年	7	大西勲	大野紘一	坂本正彦	作道恒	志村昌也	藤野早苗
		布施百合子					
昭和36年	14	石川雅子	伊東敬子	太田東洋男	窪田祐一	佐野東隆	末木隆夫
		谷口百合子	田村久夫	辻武司	中村敏男	名取和男	茂手木正一
		山本正宣	雪江武雄				
昭和37年	6	川島民子	黒田順子	小松寿恵	篠原正邦	立川統	樋泉靖志
昭和38年	23	雨宮武士	池田美子	一瀬明	市橋金之助	臼田恵	梅沢梅子
		乙黒克行	清水秀和	新海行子	鈴木紀子	武内紘司	武田信義
		角田等	中澤喜雄	中野千磨	長沼真	祢津信夫	廣瀬修二
		三川和子	矢野峻行	山田常夫	山本陽子	渡辺房男	
昭和39年	14	秋山きょう一	芦沢千鶴	網仲純子	飯島善一郎	大木芳正	加々美睦夫
		金丸孝敬	国富隆	小林牧子	斎藤美都子	田原達人	波羅芳武
		堀尾美恵子	森泉弘子				
昭和40年	11	天沼律子	飯野文吾	今井實	河下利江	佐藤達夫	鈴木勝典
		中島公一郎	水谷園江	水谷康志	三井元博	茂手木光博	
昭和41年	10	風間省二	小針直美	瀬尾仁美	関岡美佐子	高木悦子	手塚彰夫
		内藤浩	日置淑子	深沢克	山本秀彦		
昭和42年	11	宇野文子	川野昭雄	桑江彰子	佐野高志	塚脇一帆	辻敏子
		八田政恭	日野水仁	深澤政年	横澤良次	渡辺緑	
昭和43年	11	天野文子	池田秀雄	石原恵利子	猪股賢太郎	小木曾博	加藤まゆみ
		竹中みゆき	永井博	信田光男	古屋史夫	森島誠	
昭和44年	7	遠藤淑子	桑木ちおり	杉本恭子	中原たか子	三田富貴子	峯川文江
		山田和美					
昭和45年	9	佐々木まち	設楽久敬	滝田和彦	中内和美	三澤共香	三井三枝子
		村上真理子	望月敏	森田ひとみ			
昭和46年	9	延命恵美子	大竹伸一	小川和子	柿沼敏子	金子桂子	清水勝
		杉矢健一	杉矢利江	鈴木正恵	内藤朗	内藤江里子	中嶋文夫

	24	仲野裕子	永田賢一	野呂瀬秀樹	深澤信子	三科敏美	溝口登茂恵
		宮崎佐多子	宮崎まと	宮下次廣	守屋正彦	矢寄裕子	山下恵子
昭和47年	28	天野二郎	市川京子	岩澤忠彦	上村英子	大野順子	大野文人
		小川早苗	玄間稔	河野美沙子	坂本永子	佐藤みどり	嶋田朋子
		清水久子	志村純子	末木浩一	高地貞夫	滝本かおり	谷文香
		新津茂夫	野呂瀬菊美	細田仁	匿名希望	松本弥生	山田陽子
		山本節子	依田淳一	米山敬文	渡辺正文		
昭和48年	14	青柳靖元	石川久美子	石川ゆり子	上田健	遠藤裕紀	木下あや子
		桐原裕子	田中洋子	辻恵美子	中川英子	八田政仁	望月和美
		森田珠美	林野妙子				
昭和49年	5	近藤厚子	清水喜彦	松本博美	山下一恵	窪田三枝	
昭和50年	9	雨宮久美子	海老原綾子	軽石泰孝	斉木裕子	田中与志子	鶴田澄子
		友田茂子	増尾伸子	横瀬一寿			
昭和51年	8	海瀬和美	大塚由美子	海沼弘忠	子安美幸	南波喜久美	羽田忠生
		望月裕子	海東朝美				
昭和52年	5	飯野正仁	佐藤守	中山初美	新津裕史	吉川文代	
昭和53年	8	飯窪光隆	小川朗	勝村良一	高橋公子	田澤増子	仲田道弘
		林正人	樋口雄一				
昭和54年	3	佐野直樹	朱宮明美	田中哲哉			
昭和56年	1	鷹野由香					
昭和61年	1	嶋田幸子					